

自律的/価値創造的公務員を育む
地域活性化センター短期インターンプログラム

地域活性化センター

キャリア開発塾



キャリア開発塾とは

地方公共団体で働く若手職員向けの、当センター**短期インターンシッププログラム**です。

センター職員の目指す姿と同じ**自律的・価値創造的な公務員**に変わるきっかけをつくります。

キャリア開発塾の学びのポイント

これからの時代の
公務員に求められる
能力、考え方を学ぶ

不確実性が高まる今後の時代
には、多様な関係者と共に地域
社会の理想像を考え、実現を目
指す、**自律的で価値創造的な公
務員**が求められます。

新たな公務員像への意識づく
りとともに、参考となる実践者
との交流ができます。

官民の働き方、
考え方に関する
先進現場に触れる

都内の官公庁や民間企業では、
これまで想像できなかった働き
方・オフィスの改革が進められ
ています。

現地見学を通じて、**公務やビ
ジネスの最先端における環境や
考え方**を実地で学ぶことがで
きます。

最先端の現場で働く
官民の人材との対話
から気づきを得る

講義と実践を通じて、自分の
**組織・地域の創造性向上に役立
つ手法を体験**できます。

また、行政と連携する民間団
体との交流により、これからの
**地域において行政に期待される
役割**への理解を深めることがで
きます。



主な講義及び視察実績・プログラム例

講義テーマ

- ・変化する社会の読み解き方
- ・令和時代の公務員の働き方
- ・官民共創の新潮流
- ・産業遺産
- ・フューチャーデザイン
- ・SWOT分析
- ・飛び出す公務員実践事例

視察先

- ・総務省行政管理局
- ・渋谷区役所
- ・サイボウズ株式会社
- ・コクヨ株式会社
- ・株式会社オカムラ
- ・UNIVERSITY of CREATIVITY
- ・SHIBUYA QWS

プログラム例

- 1日目PM：社会変化に関する導入講義
- 2日目AM：働き方改革に関する講義
- 2日目PM：働き方改革に関する企業視察
- 3日目AM：官公庁オフィス視察
- 3日目PM：創造性向上に関するワーク
- 4日目AM：官民連携・起業支援現場視察
- 4日目PM：官民共創に関する講義・ワーク
- 5日目AM：飛び出す公務員実践事例紹介
- 5日目PM：まとめ、参加者発表

主任講師

箕浦龍一 氏

- ・元総務省大臣官房サイバーセキュリティ情報化審議官
- ・一般社団法人官民共創未来コンソーシアム 理事
- ・一般財団法人地域活性化センター シニアフェロー



募集情報

参加費用

1名35,000円（当センター賛助会費として。別途旅費等自己負担）

募集人数

各回16名程度

申込方法

センターHPからメールによる受講希望調書提出



キャリア開発塾
紹介・申込先



創造性向上ワーク（UoC）



民間起業家との行政連携に関する意見交換（SHIBUYA QWS）



企業の働き方改革紹介（サイボウズ社）



オフィス見学（地域活性化センター）

受講者/派遣元の声

受講者から：プログラムの感想

- 新たな気付きや刺激をもらい、とても充実していました。
- 想像以上に楽しかったです。普段見られないオフィスや働き方を知り、他市町村の方と関わった事が嬉しかったです。新しいことを始めた方々の話から勇気をもらいました。
- 現状から一步踏み出す勇気をいただけた研修でした。
- 非常に密度の濃い内容、今までの概念を覆す機会の連続で、終始、刺激に満ち溢れた研修でした。
- 急速に変化する時代に公務員も今まで通りの働き方ではダメという漠然とした思いは持っていましたが、講師や参加者の姿勢を見て、自分も行動していきたいと思えました。

受講者から：こんな人にオススメ

- 人脈を広げたい、今の仕事に新しい風を吹き込みたい人
- 官民共創や職場横断、地域イベントを担う人
- 少しでも働き方や環境に問題意識を抱いている人
- 今の組織での現状維持がいいと思い込んでいる人
- 熱い気持ちを持っているけれど、それをどのように実現させていけばよいかわからないという人

派遣元から：受講後の変化の印象

- 帰庁後すぐに自主報告会を行い、学びを共有していた。
- 主体的・前向きに業務に取り組もうとするマインドが養われた様子が伺える。
- 先進企業の職場環境整備の取組に大いに刺激されていた。
- これまでと同じではなく、時代に沿った変化の必要性を意識しながら業務に取り組む姿勢が見られる。



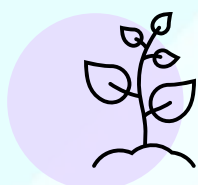
問い合わせ先

一般財団法人地域活性化センター
企画・人材育成グループ
アクティブラーニング室

e-mail: active@jcrd.jp

TEL: 03-5202-6133

<https://www.jcrd.jp>



R5.6.15作成